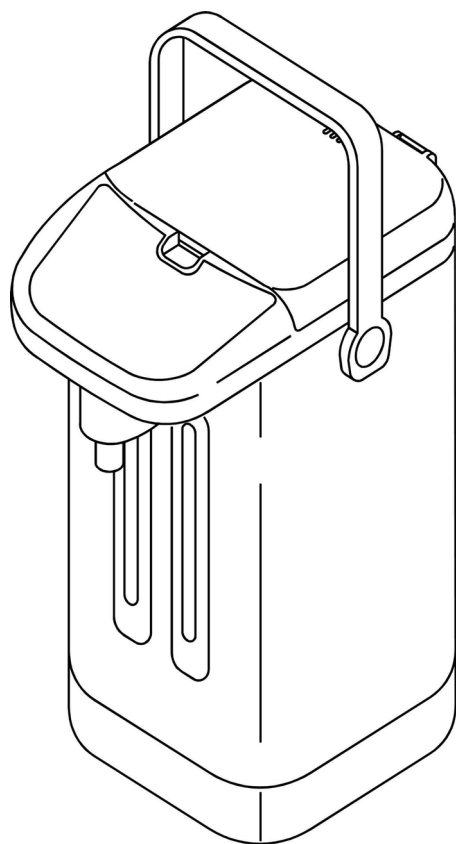


次亜塩素酸水生成器

Zeo Queen EX

EX-2000

ゼオクイーンEX



取扱説明書

この度は弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本製品をご使用になる上で大切なことが記載されていますので、ご使用前に必ずお読みの上、正しくお使いください。

もくじ

安全上のご注意……………	1～3
付属品……………	3
各部の名称……………	4
電解次亜塩素酸水の作り方	
準備……………	5
生成……………	6
吐水……………	7
有効塩素濃度の測定方法…	8
お手入れの仕方……………	9
故障かなと思ったら……………	10
仕様・保証書	

飲料用ではありません。

■正しい使用をされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■本製品は医療機器ではありません。

■生成された電解次亜塩素酸水を洗剤、薬品等と混ぜないでください。

■安全上のご注意 (このページは必ずお読みください)

表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。その表示や意味を理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告



禁止

* 表示された電源電圧 (交流100V) 以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。



禁止

* 船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災の原因となることがあります。



禁止

* 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

* 電源コードが折れ曲がったり傷ついたりしないようにしてください。電源コードが破損し火災、感電の原因となります。



禁止

* タコ足配線はおやめください。発熱し火災の原因となります。



禁止

* 電源コードが傷んだまま使用したり、ガタついているコンセントでは使用しないでください。火災、感電の原因となります。



必ず実行

* 電源コードのプラグやソケットにたまったほこりなどは定期的に取り除いてください。火災、感電の原因となります。



禁止

* 本器の改造、分解は絶対にしないでください。火災、感電の原因になります。その結果生じた事故について当社は一切責任を負いません。



禁止

* 浴室やシャワールームでの使用は絶対にしないでください。生成中に微量のガスが発生する場合がありますので、換気の良い場所で使用してください。



禁止

* 専用電解補助液以外の液体を添加液として使用しないでください。有毒物や有物質を生成し、有毒なガスを発生させて生命にかかわる恐れがあります。



禁止

* 専用電解補助液を飲み込んだり、目に入れたりしないでください。もし誤って飲んだ場合は水を大量に飲み、また目に入れた場合はこすらずに十分に水洗いをし、医師に相談してください。健康を害することがあります。



禁止

* 専用電解補助液が肌についた場合は、すぐに大量の水で洗い流してください。炎症を引き起こす原因になります。

■安全上のご注意 (このページは必ずお読みください)

警告



必ず実行

* 本器に使用する専用電解補助液は、水道水で希釈した専用電解補助液を使用してください。その他の物を使用すると故障の原因となることがあります。



必ず実行

* 生成された電解次亜塩素酸水が目に入った場合はこすらずに水でよく洗い応急処置をし医師に相談してください。



禁止

* 次のような場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。火気を使用しているところ、直射日光が当たるところ、凍結の恐れがあるところ、湿気やほこりの多いところ、水のかかるところ、腐食性ガスの発生するところ。



禁止

* 底面に空気の吸入口があります。カーペット・タオルなどを本器の下に敷いて、空気の吸入口を塞がないでください。



禁止

* 背面にある空気吹き出し口を塞がないでください。故障の原因となることがあります。



禁止

* グラついた台の上や傾いたところには設置しないでください。落ちたり倒れたりする原因になることがあります。



必ず実行

* 万が一停電等で生成中に電源が切れた場合、本体内部に残った生成水を捨て新たに生成を行ってください。



禁止

* 30℃を超える温水は使用しないでください。故障の原因となることがあります。



禁止

* 生成水の出口を塞がないでください。故障の原因となることがあります。



禁止

* 生成水の出口をホースなどで延長しないでください。故障の原因となることがあります。



禁止

* 本器の上に物を置かないでください。故障または事故の原因となることがあります。



禁止

* 本器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



禁止

* 本器に水をかけないでください。故障の原因となることがあります。









必ず実行

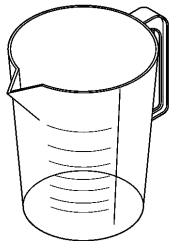
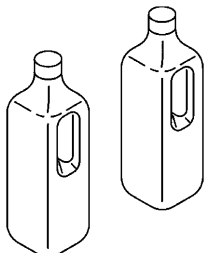
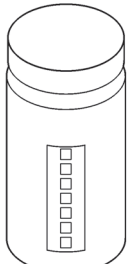


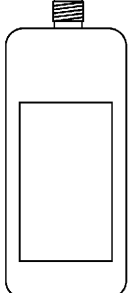
* 電源プラグをコンセントから抜き差しする場合は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張るとコードが傷み火災、感電の原因となることがあります。

■安全上のご注意 (このページは必ずお読みください)

⚠ 注意

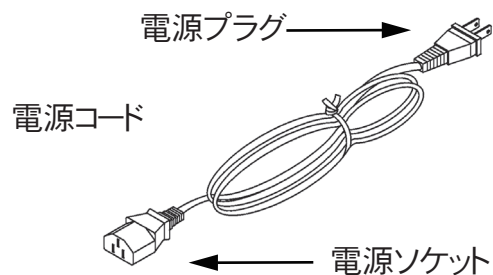
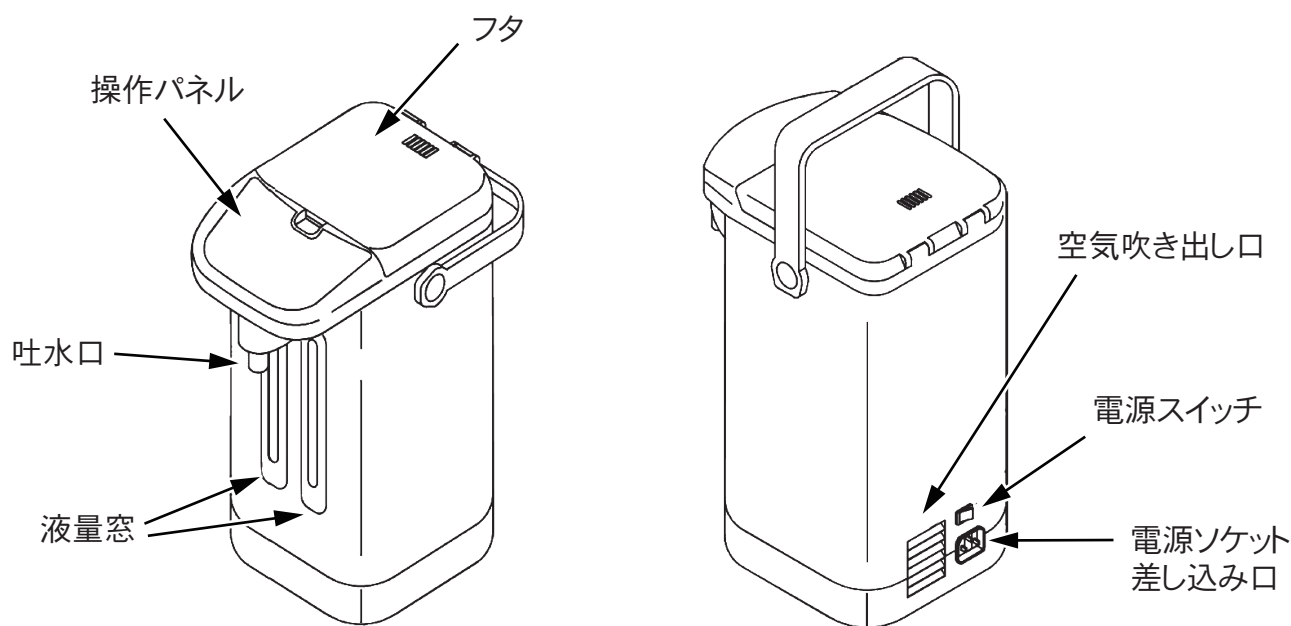
- 
 * ホチキスの針やクリップなどの異物が本体槽内（電解液を入れるところ）に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 
 * 故障した場合には、必ず販売店に修理を依頼してください。ご自身での修理は絶対にしないでください。異常動作や漏電により感電したり、発火することがあります。修理は販売店にご相談ください。
- 
 * 寒冷地でご使用の場合は、本体内が凍結しないように、ご注意ください、室温でご使用ください。
- 
 * 急に寒い場所から暖かい場所に移動しないでください。本体内で結露が発生し、故障の原因となります。
- 
 * 本器及び電解次亜塩素酸水の使用、保管に関しては小児の手の届かないところにしてください。
- 
 * 70分の電解モードの場合は弱アルカリ性となります。ご理解の上ご使用ください。

■付属品

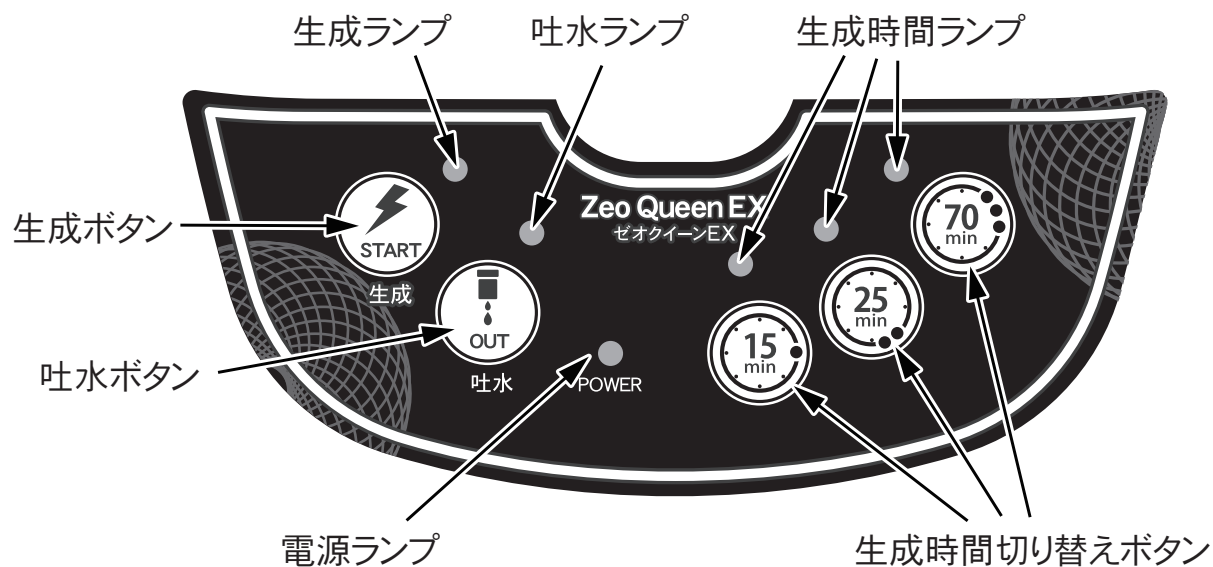
計量カップ (2リットル)	保存容器 (2リットル)	有効塩素濃度 測定セット (100枚)	電源コード	電解補助液 計量カップ (10ml)	専用電解 補助液 (500ml)
1個	2本	1セット	1本	1個	1本
					

■各部の名称


本体各部の名称



操作パネル各部の名称



■電解次亜塩素酸水の作り方

準備  70分電解はアルカリ性となります。

1. 本体のフタを開けてください。
2. 電解補助液計量カップ(10mL)を使用して、5mL～10mLの分量の専用電解補助液を計量カップ(2リットル)に入れてください。

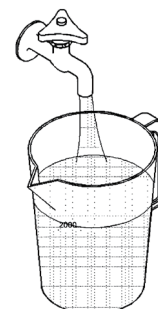
・電解補助液の量は下記目安表を参考に入れて下さい。



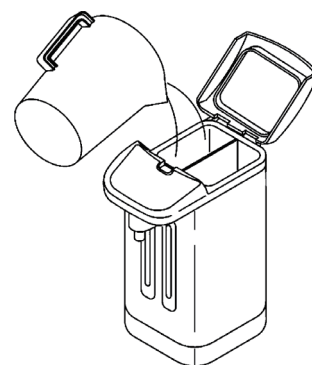
電解時間 (min)	電解補助液量 (水道水2リットルに対し)	有効塩素濃度 (ppm)	pH
15	5mL	約 50～60	約 4.3～5.3
25		約 70～90	約 5.8～6.8
70		約 140～170	約 7.0～8.0
15	7.5mL	約 60～70	約 3.5～4.5
25		約 90～110	約 5.0～6.0
70		約 200～230	約 7.0～8.0
15	10mL	約 70～80	約 3.0～4.0
25		約 110～130	約 4.5～5.5
70		約 230～260	約 6.8～7.8

※環境及び希釈する水道水の環境により、目安値より数値以上に値が変化することがあります。


3. 計量カップ(2リットル)の2,000のラインまで水道水を入れ、よくかき混ぜてください。



4. 上記で作成した水溶液(2リットル)を本体(槽内)に入れます。
(左右の槽はつながっていますのでどちらの槽に入れても構いません。)



5. 2～4を繰り返して電解液を合計4リットルにしてください。

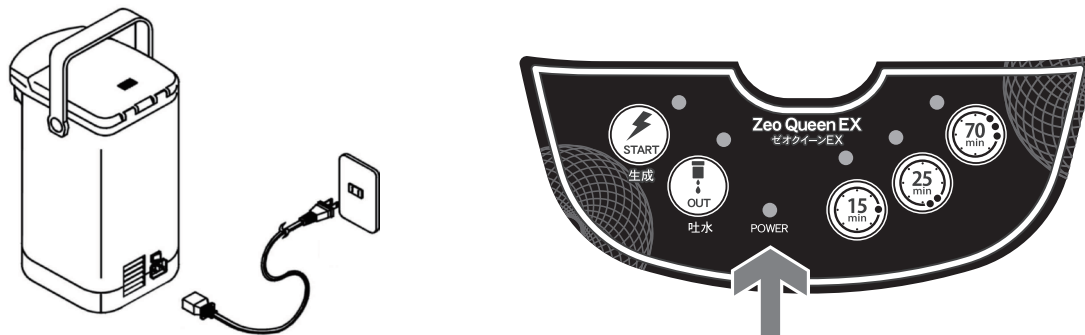
 **注意** 塩素濃度をご理解の上、次亜塩素酸水をご活用ください。
必ず4リットルの電解水を入れてください。

6. フタを閉めます。

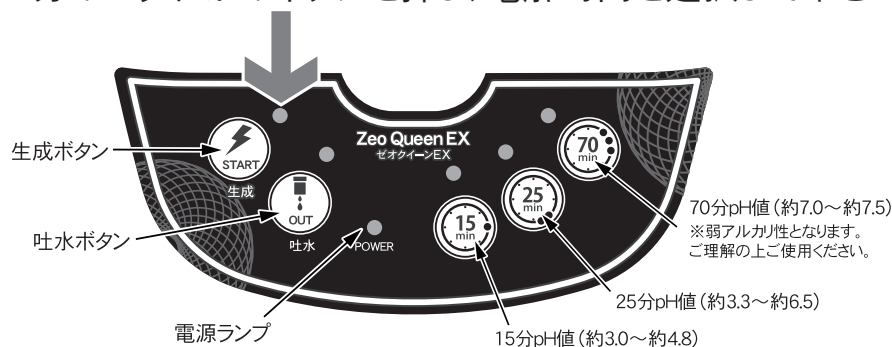
■電解次亜塩素酸水の作り方

生成

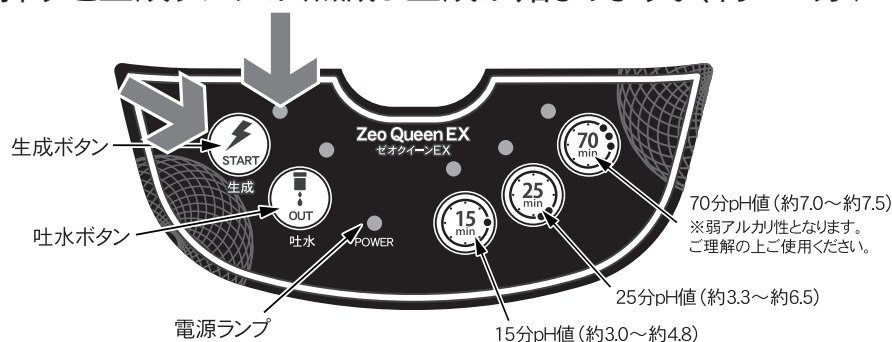
1. 電源コードのソケットを本体背面の電源ソケット差し込み口に接続します。次に電源プラグをコンセントに接続してから、電源スイッチをONにします。操作パネルの電源ランプが点灯します。



2. 生成ランプが消えていることを確認します。生成ランプが点灯している場合は、生成ボタンを1回押すと生成ランプが消灯します。15分/25分/70分のいずれかのボタンを押し、電解時間を選択して下さい。



3. 生成ボタンを押すと生成ランプが点滅し生成が始まります。(約15分/25分/70分)



※上記のpH値は専用電解補助液を10～20mL使用した場合の目安数値です。

※70分の電解モードの場合、弱アルカリ性の電解次亜塩素酸水となりますので、ご理解の上ご使用下さい。通常でのご使用の推奨時間は15分/25分の電解モードとなります。

※生成中は電源を切らないでください。

※電解中に停電等で電源が切れた時は電源復帰後全てのランプが点滅してお知らせします。(いずれかのボタンを押すことにより点滅は解除されます。)

※停電などで生成が正常に完了しなかった場合は、生成水を全て排水し、最初からやり直してください。

※電解中はフタを開けず、換気を充分行ってください。

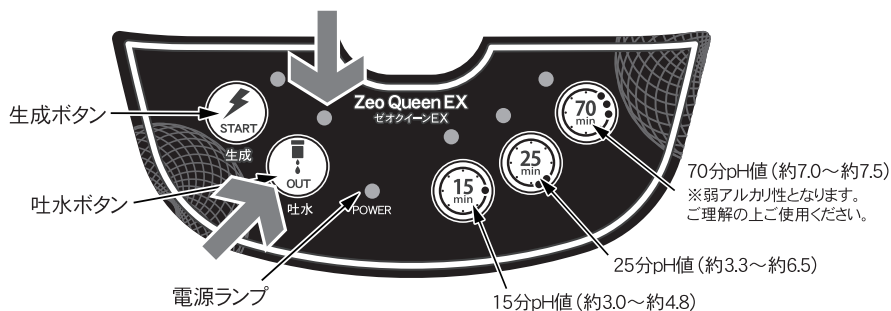
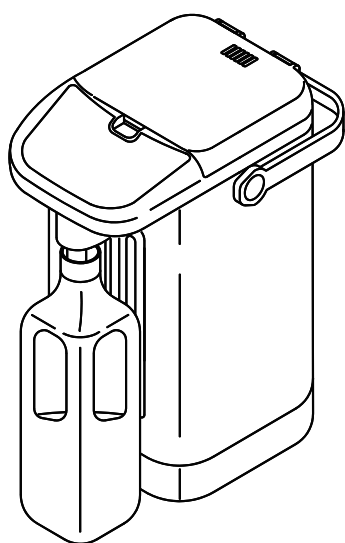
4. 生成ランプが点滅から点灯になると生成が完了です。

■電解次亜塩素酸水の作り方

吐水

生成が完了したら保存容器を吐水口に合わせて置き、吐水ボタンを押して電解次亜塩素酸水を取り出してください。

- ・吐水ランプがしばらく点滅し、それから点灯に変わり、吐水が始まります。
- ・吐水が止まると、吐水ランプは消灯します。
- ・吐水ボタンは短く1回押すと約2リットル連続で吐水します。途中で止める場合は再度、吐水ボタンを押してください。
- ・吐水ボタンを長く押し続けると、押し続けている間だけ吐水し、はなすと止まります。
- ・吐水動作を2回以上行い、本体から全ての電解次亜塩素酸水を吐水して下さい。



※生成中は吐水できません。

- ・吐水後、生成ボタンを押して生成ランプを消灯させて下さい。

⚠ 注意

※上記のpH値は専用電解補助液を10～20mL使用した場合の目安数値です。

※70分の電解モードの場合、弱アルカリ性の電解次亜塩素酸水となりますので、ご理解の上ご使用下さい。通常でのご使用の推奨時間は15分/25分の電解モードとなります。

※電解次亜塩素酸水は生成が完了したら、すみやかに保存容器に取り出してください。

※生成完了後、本体内部の冷却用ファンが約10分ほど動いて自動的に止まります。

冷却用ファンが自動的に止まるまで電源スイッチを切らないでください。

ファンが止まる前に電源が切れると、故障の原因になることがあります。

※生成することにより、電解次亜塩素酸水の水温が上がる場合があります。

※電解次亜塩素酸水が入った保存容器は、キャップをしっかり閉めて密閉してください。

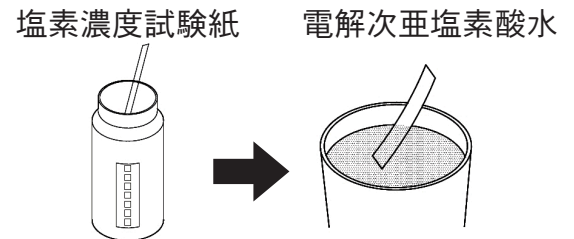
※連続で電解次亜塩素酸水の生成を行わない場合は、製品内に残った電解次亜塩素酸水は製品を傾けて捨ててください。

■有効塩素濃度の測定方法

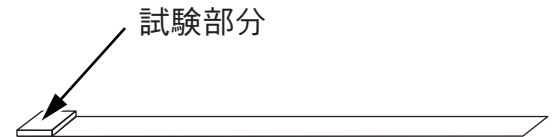
塩素濃度試験紙の測定範囲は最大600mg/Lです。

1. 電解次亜塩素酸水をガラスのコップ等の容器に入れます。

2. 塩素濃度試験紙を1枚取り出し、電解次亜塩素酸水に1秒間浸し、直ちに取り出します。
その際、過剰な水は1回振り払ってください。



3. 試験部分を上に向け、水平にして30秒間保持した後、試験紙の呈色を試験紙のケースに貼られている色調表と比較して判定します。



4. 判定した値が、塩素濃度の目安となります。

⚠ 注意

※この確認方法は簡易的なものです、目安として使用してください。

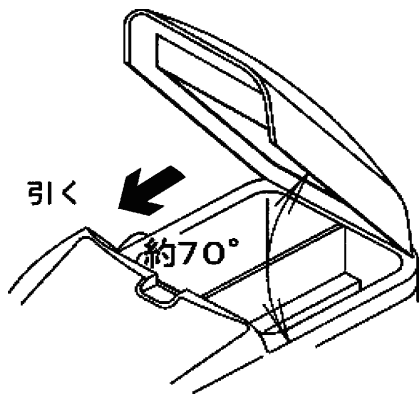
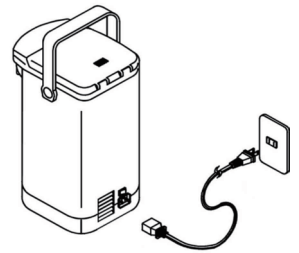
※試験紙を容器から取り出したら、直ちに容器のフタをしてください。

※試験紙は湿気や直射日光を避けて室温で保存してください。

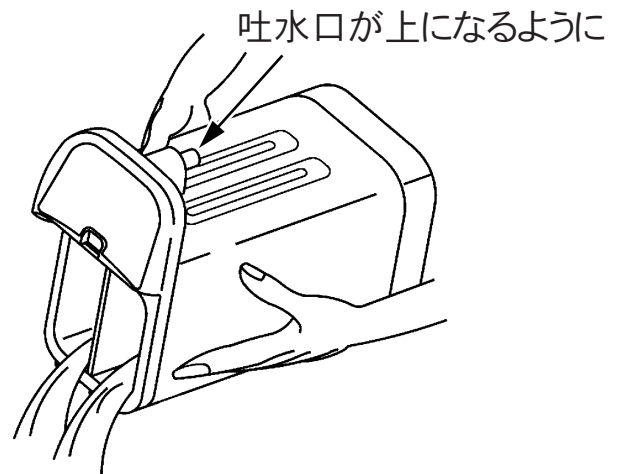
※判定は30秒経過直後に行ってください、時間が経過すると色が変わってしまいます。

■お手入れの仕方

1. 電源スイッチを切ってから電源コードをコンセントと本体から抜いてください。
2. フタは取り外して、水洗いしてください。
3. 槽内に水道水を入れて軽くすすぎ洗いをしてください。
(水道蛇口から直接水を入れなくて、計量カップで水道水を注いでください。)
4. 水洗い後、吐水口が上になるようにして排水をしてください。
5. 本体の外側は良く絞った布で拭き取るようにしてください。



フタを70°ほど開けて手前に引き、外してください



⚠ 注意

※水洗いをする際、本体底面(空気吸入口)や、背面(電源スイッチ、空気吹き出し口、電源ソケット差し込み口)から水が製品内部に入らないように、注意してください。

水が入ると故障の原因となります。

■故障かなと思ったら

症状	原因	対処
電源ランプが点灯しない。	電源コードが抜けている。	電源コードの電源ソケットを本体背面の電源ソケット差し込み口に、電源プラグをコンセントに確実に接続してください。
	電源スイッチがOFFになっている。	電源スイッチをONにしてください。
生成を行おうとしたところ生成ランプが点灯している。	前回生成終了時に生成ランプを消していない。	生成ランプを1回押して生成ランプを消してください。
吐水ボタンを押しても電解次亜塩素酸水が吐水されない。	生成中。(この時、生成ランプが点滅しています。)	生成が完了し、生成ランプが点灯に変わってから吐水ボタンを押してください。
すべてのランプが点滅している。	生成中に停電等で電源が切れた。	いずれかのボタンを押し点滅を解除してから、吐水ボタンを押し続けて、本体内から水を全て排出し、最初から電解次亜塩素酸水を作り直してください。
電解次亜塩素酸水を有効塩素濃度測定紙で測定すると色が薄い。	希釈した水溶液を作った時の電解補助液の量が少なかった。	規定量の電解補助液を入れて最初から作り直してください。
	電極板の寿命。	お買い上げの販売店にご相談ください。
電源ランプが短い間隔で(約0.1秒間隔)で点滅している。	内部で電気信号の異常が発生した。	一旦、電源スイッチをOFFにして10秒くらい経ってから再度ONにしてください。改善されない場合は販売店に連絡してください。
上記の対応で症状が改善されない場合、又は上記以外の症状の場合	-	お買い上げの販売店にご相談ください。

■仕様

仕様

品名	電解次亜塩素酸水生成器
名称	Zeo Queen EX EX-2000 (ゼオ・クィーンEX)
外形寸法	高さ407mm×幅205mm×奥行270mm(突起部含まず)
本体重量	約3.5kg
定格電圧・周波数	AC100V 50/60Hz
定格電流	0.8A
総販売元	株式会社エヌ・アイ・シー
使用周囲温度	10～40℃(凍結不可)
使用相対湿度	0～85%RH(結露無き事)
給水水質	専用電解補助液を添加した水道水
給水水温	5～30℃
生成方法	バッチ式無隔膜電解方式
有効塩素濃度	約50ppm～約330ppm <<ppm=mg/kg>>
生成時間	約15分・約25分・約70分
処理水量	4ℓ
消耗品	有効塩素濃度測定紙、電極板 専用電解補助液(別売り)

*仕様、外観等は製品改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

総販売元

NiC 株式会社エヌ・アイ・シー

〒213-0031 川崎市高津区宇奈根 779-4
TEL: 044-829-5573 FAX: 044-813-5877